

## 発 言 通 告 書

発言者氏名	堀りょういち
発言の会議	令和8年 6月 9日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、上下水道局長、教育長

### 【件名及び発言の要旨】

#### 1 学校給食における地場産食材の活用について

- (1) 学校給食に地場産食材を積極的に活用することの重要性について
- (2) 地場産食材の利用の現状に係る評価と課題認識について
- (3) 市と事業者間で定期的に情報交換を行う場を設置することについて
- (4) 学校給食における地場産食材に「三浦半島産」を一つの層として明確に位置づけ、意識的に取り入れていくことについて

#### 2 重層的支援体制整備事業のさらなる推進について

- (1) 国の交付金削減による本市への影響と今後の取組姿勢について
- (2) 徴収系窓口を生活困難の早期発見の機会として明確に位置づけ、督促状や催告書へ相談先案内を記載し、相談時の標準的な対応方法を整理することについて
- (3) 複数債権を一体で把握する庁内連携の仕組みを構築すること

について

- (4) 重層的支援体制整備事業における本市の消費生活センターとの連携をさらに強化する必要性について
- (5) 全職員向けの研修の実施やツールの作成等を通じて、本市全体で市民のＳＯＳに気づき、つなぐ文化を醸成していくことについて

### 3 大規模災害時における在宅療養者の医療継続体制の構築について

- (1) 在宅療養者を支える多職種と本市が連携し、大規模災害時においても必要な支援を確実に提供できる体制を構築することについて
- (2) 高リスク層在宅療養者の把握を進め、個別避難計画の作成を早期かつ着実に進める必要性について
- (3) 個別避難計画の作成に担当の訪問看護師等が関与する仕組みをつくることについて
- (4) 患者情報を地域の医師・看護師がリアルタイムで把握できるよう、緊急時に参照・活用できるデータベースを医師会や訪問看護ステーションと連携して構築することについて
- (5) 個別避難計画と災害時要援護者支援プランを統合し、有事において地域の支援者が支援の優先順位を判断できるようにすることについて
- (6) 発電機・蓄電池等の非常用電源を各行政センター等に備蓄・貸し出しできる体制を整備し、停電直後 72 時間以内の電源確保対応が可能となる仕組みを導入することについて